

東海大学付属望星高等学校

同窓会会報

第31号



開校満五十年を迎えて

校長 細野久一

我が国初のFM放送を使った通信制の高等学校として開校した本校は、今年四月に開校満五十年を迎えました。

昨年の暮れ、校長室内の書架を整理していたとき、創立十周年記念特集号

『あすなろ』（昭和四十五年五月二十一日発行）を手にしました。

創立者松前重義博士は「開校満十年を祝う」と題して、次のように述べられています。

十年前、東海大学にFM放送を利用した通信制の高等学校を開設しようとしたのは、いうまでもなく教育の機会均等をめざしてのことである。中学校を卒業して普通の高等学校に進学することの出来ない諸君に進学の機会を与える。すなわち放送によって教育の機会均等をはかると言うことは、日本で最初の試みであった。（中略）

十年前、この望星高等学校（当時は東海大学付属高等学校通信教育部）の認可申請を東京都に提出したが、日本で初めてのことであつたからか、言いようのない困難があつたのである。（中略）

創立者の理想、「望星」に込められた思い、使命感に改めてふれ、意を強くしました。

私学の通信制高校を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。本校にとつても同様であり、明るさが見えつつあるとはいえ確かなものではありません。「望星」の誇り、財産は同窓生の一人ひとりです。元気に活躍される会員の皆さんに私たちに活力を与えてくれます。今後とも母校への力強い応援、支援をよろしくお願ひします。

（略）しかし各方面の人々の協力を得て、昭和三十四年三月三十一日、ようやくにして学校設置の認可がおりたのだ。NHK学園の設立はそれから四年も後の話なのである。（中略）

しかし、FM放送を利用して最初に創立されたこの特色ある通信制高等学校と、気品の高い教養放送は、その名譽のために、われわれの努力によつて、永久にこれを継続させなければならぬ。（中略）

前進すると言うこと、初めてのこと起こすこと、これらの事柄には必ず困苦がついてまわるものだ。われわれは、それらの困苦に耐え、文化向上の理想をめざし、よりよき社会の開発に向かつて戦ってきた。東海大学には、こうした開拓的な精神がみなぎっていると思う。「若き日に汝の希望を星につなげ」。その望星の精神が

困苦を伴う様々な変貌を余儀なくされました。その中で本校は、私学の通信制教育のパイオニアとして、社会の変化に常に先取りした新しい教育体制、多様化する生徒一人ひとりに対応した柔軟な学習システムを構築しつつ、

教育の原点にたち、教育の良心に基づくきめ細やかな教育を一貫して展開してまいりました。生徒の皆さんも、ともに学び合う「望星」の一員としてよく応えてくれました。

本校の根底にあるもの、教育力の源、それは「望星」に込められた創立者の精神そのものです。これがわかるからこそ幾多の困苦も乗り越えて五十年もの歴史を刻み、次の半世紀への第一歩も踏み出すことができるのです。

結びに、同窓会の充実、発展と会員の皆さんのご健勝を心より祈念いたします。

80
—
20会長
下倉良次

する間だけですね」

「……」

返事が出来ませんでした。

「歯周病がかなり進んでいますよ。朝食後、夜寝る前に歯を磨く習慣をつけてください」

そして歯ブラシを持つてくるように指示され歯の磨き方を指導されました。歯茎の付け根を磨くと同時に歯の裏側を磨きなさい、

皆さん80~20という言葉を聞いた事がありますか。これは80才になって20本の自分の「歯」がある、ということだそうです。

私の住む船橋市では60才を過ぎると毎年「健康診断」を受けるよう連絡が来ます。70才のときには、併せて「歯の診断」を受けるように、と連絡がありました。歯の治療は会社の歯科医の治療を受けていました。

その先生が独立して開業したので、退職後はそこに通つて治療していたのですが、現在そこまで行くのには一時間余を要し一千不快を感じていきましたので、この機会に近くの歯科医を探す事にしました。水泳スクールの仲間に相談したところ、近くにある「歯科医」が親切で良いと思うと、紹介してくれました。

そこは駅から5分程で近く、院長は男性ですが他の若い女性と「歯科医院でした。今まで歯科医と言うよりは友達感覚で対応していただけに最初は戸惑いました。

「歯を磨くのは何時ですか」

「毎朝歯を洗う時だけです」

「すると歯が綺麗なのは顔を洗つて食事を

70歳代の人20名ほどの名前が出ています。「下倉さんの名前を出してもいいですか」と言わされました。歯科医の待合室には80~20達成者・十数名の名前が掲示されています。その横には達成予定者として70歳代の人20名ほどの名前が出ています。

さざれています。その横には達成予定者として70歳代の人20名ほどの名前が出ています。「下倉さんの名前を出してもいいですか」と言わされました。歯科医の待合室には80~20達成者・十数名の名前が掲示されています。その横には達成予定者として70歳代の人20名ほどの名前が出ています。

少しだけ残念だったのは、量が生徒で自己消費できるくらいに設定されているため早めに売切れてしまう。又、生徒間の消費だけでは、蛸の共食いで、売上げも限定される。

参加者の笑顔で、満足感が充分うかがえるが来年以降も、より充実した文化祭を継続するには、ここはOBの出番だ。秋の文化祭には、是非、OBが沢山参加して、壳上げにもご協力を願いしたい。文化祭等

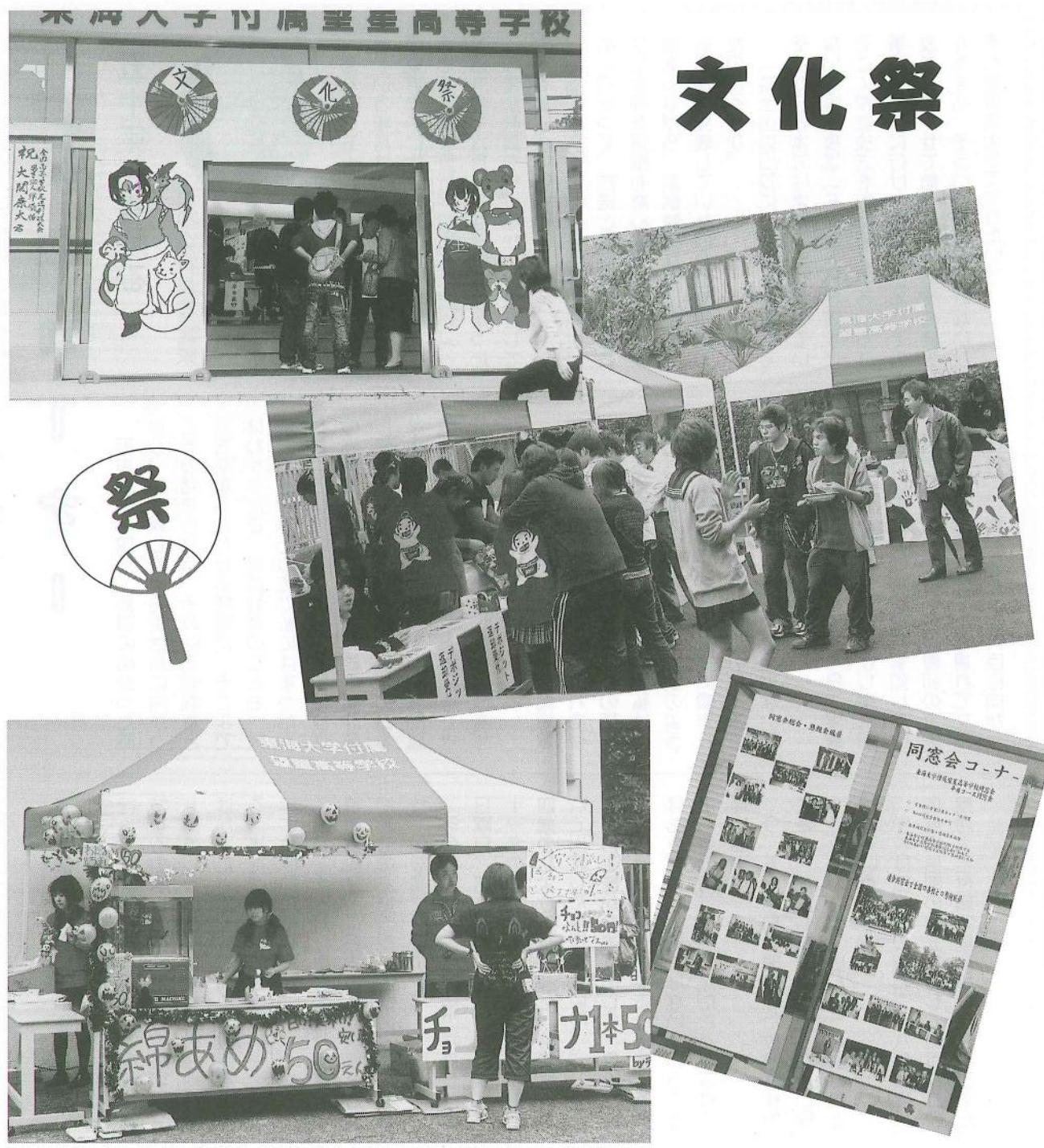
最近の望星文化祭は一味違う。学技・生徒会・実行委員会が三位一体になり、お揃いのTシャツまで、作る力の入れようだ。今回のテーマは「和んだるる望星秋場所」で、デポジットシステムとエコキヤップ運動の実施やFSC割り箸の使用と、化学物質を使用していない「アクアーナノクリーン洗剤」を使用する地球環境に配慮した企画は大きく評価できる。

大まかなテーマを「和」として、平日教育コースと放送教育コースが一緒になり、委員会・クラス・有志団体・後援会まで応援参加だ。テーマ通りに、瀧瀧とした笑顔で和んでいる参加者たち、出し物も食べ物屋さんが多く盛りだくさんだ。同窓会も談話室の一部で写真を貼つて、ミニミニ活動報告を行なった。

の日程は、学校に問い合わせするかHPでも掲載される。又、OBだけでも参加したい希望があれば、スペースの問題もあるができる可能性もある。卒業してからも学校に遊びに行こう。

待つてました！ 文化祭





第四十六回同窓会のご案内

にわか雨に濡れた木の葉の滴
がまだとまらないうちに、よく
カツコウが鳴きます。くよくよ
しなさんな、広い外へ出てみなさ
い。胸を開きなさい。上を見て
考えなさい。呑氣者のカツコウは、
いつもそんなふうに言っているよ
うに思えます。
身も心も若い学生時代に戻り
ませんか?

懐かしい先生や仲間達が、いつ
でも温かくお待ちしております。
尚、ご出席できない方もハガキ
にて近況をお知らせ下さい。

記

一、日時 平成二十二年五月二十四日(日)

午後一時より総会

午後二時より懇親会

二、場所

東海大学付属望星高等学校

総会

望星高校二階教室

懇親会

東海大学4号館

二階学食談話室

三、会費

今年度卒業生 三千円

ご夫婦での参加 五千円

内木コロナ

五十年を考える



東海大学付属望星高校
名誉校長

内木文英

あれから五十年経過したのだ。五十年という年月は、学校にとつても、その教育の中に生きた自分にとつても、大きな区切り目だ。昭和三十四年（一九五九年）六月、私は二十四歳だった。このまま教員を続けるか、作家として生きるか、迷いの雲の中にいた。

東海大学の創設者、松前重義先生が、私に向かって、放送と教育の重ね合わせた世界を何度も熱心に説く。私が教員をしながら、演劇雑誌などにいくつも作品を発表していたのをご存知だったのだろうか。

「富士山の山頂にアンテナを建てて、そこから日本ではまだ実用化されない超短波放送（FM放送）を流す。そこに授業放送を載せる。いろいろな事情で学校に行けない者がいる。その放送を聞かせて勉強させ、卒業の資格を与える。そういう学校が作れないか。それを東海大学でやりたい」

昭和三十年四月、最初に出会った時から、繰り返し松前先生は私に向かってその話をされる。それは通信教育と放送を重ね合わせる問題だ。そこまではわかったが、通信教育のことと、放送のことも、その時の私にはまったくわかつていない。しかし、学校に放送の許可は下りないだろう。この話は夢に終わるのか。それよりテレビの台本を書く仕事が殺到して、その執筆に悪戦苦闘する。作家と教育と両立はできない。そのどちらかにしなければ身体がもたないと思っていた。

昭和三十三年四月、東海大学超短波放送実験局の許可が下りた。それを使って高等学校教育を行なう学校の認可を得る仕事が私にまかされる。私はその時、東海大学付属高校の教頭のような立場にあつた。教科書会社に頼まれて教科書編集の仕事もしていた。週に二度ほど徹夜しないと処理出来ないほどの仕事量だ。

昭和三十三年十二月三十一日、実験局FM東海が開局する。しかし東京都は新しい形式の学校設置を承認しない。広域通信制の独立校として認可され、東海大学付属望星高校と校名を改めた。省に行く。灘尾弘吉文部大臣に向かっ

ての大演説、内藤初等中等教育局長に対する熱心な説得。そして東京都にも行つて、説明する。訴える。高校に進学する中学校の卒業生は五十パーセントに達していない。教育の機会均等をはかるために、放送高校の設置を認めねばだ。その情熱的な松前先生の言葉に私は動かされた。

三月三十一日に東海大学付属高等学校通信教育部（日本の私立学校として初めてのFMラジオ放送による高等学校）の設置認可が下りた。

その年、昭和三十四年の六月七日の日曜日、第一回目のスクリーニング。三十一名の生徒が集まつた。半数が三十四歳の私より年長だった。弟に背負われて出席した障害者もいた。

この生徒から逃げ出して、偉そうに作家生活に入ろうとすることは、それはもう自分が人間ではないということだ。その時、そう考えたことを忘れてはいない。

今、五十年前の開校した放送高校のことと、決意した自分のことを思い返すことができて、ほんとうに幸せだと思っている。

学校は四年後の昭和三十八年四月に、東海大学付属望星高校と校名を改めた。

平成二十年十月十八日・十九日甲府高校に於いて第三回連合同窓会が行われた。

連合同窓会は全国の東海大学付属高校十一校が毎年回り持ちにて開催する。当校の参加者は、下倉会長を始め、漆谷・原澤・寺林・長南・清水・榎・須永・金谷の各氏9名となつた。

十八日の午前十時に甲府駅に集合、本日の宿泊する甲府富士屋ホテルに送迎され、まずは観光と昇仙峡へ向かつた。昇仙峡へは数回訪れてはいるが来るたびに新しい発見がある。

紅葉にはまだ早く、高く澄み切つた青空、川面に飛び散る鮮烈な水飛沫。坂道で薄つらと汗ばむこともなぜかすがすがしい。たっぷり歩いた為、昼食で出てきたほうとう会館の何と言う事の無いほうとうまでとても美味しく感じた。次は、ベルフォーレワインリーへ飲んべーの私はワインの試飲を二往復、ほろ酔い気味で気の大きくなつた私はワイン3本のお買い上げ。次の店、印傳屋へ、ここではなめした鹿革の工芸品に魅了された。まだ、酔い醒めぬ私はここでも財布をお買い上げ。

午後4時過ぎホテル着、まずひと風呂、箱根富士屋のエーベンだけあり、露天風呂も泉質も満足・満足。次は会長会議・総会と続く、川窪甲府高同窓会長の歓迎のことが、来賓では甲府高校長遠藤武人先生の挨拶、連合同窓会会长戸塚氏（相模高会長）



が議長となり活動報告・会計報告等の議事進行が無事終了した。次回開催校の北海道四高の本間会長の閉会のことばで総会は幕を閉じた。

懇親会では各校の紹介、相変わらず芸達者な四高・五高、当校も負けじと原澤副会長の軽妙な紹介で拍手喝采。アトラクションは甲府高OB峡東ベンチャーズの懐かし

きエレキに身体が反応しリズムを取る。いつもの事だが、この後も二次会、三次会と続き一年ぶりに会う他校のみんなと話が弾むし、酒が空く。翌日は、重い頭で帰京。

同行した五高・二高のメンバーと浅草見物。久々の葵丸進の天井とビールも旨く、これで盛り沢山で楽しい連合同窓会も終わつた。

毎度の事ながら食べすぎ飲みすぎ、ベルトの穴が二つほど増えたが、ガンマーレPも増えたかと悩む。進歩の無い自分に愛想も尽きるが、一年ぶり、まあいいか。



同窓会副会長
寺林勝実

同窓会総会、懇親会報告

同窓会副会長
寺林勝実

平成二十年五月二十五日、第四五回東海大学付属望星高等学校同窓会総会及び懇親会が、望星高校校舎教室と東海大学四号館学食談話室に於いて開催されました。

総会は開会宣言、会長挨拶議長選出から始まり総会次第に基づき、会計報告、監査報告、年度計画及び予算審議各議案の承認を経て、恙無く総会を終えることが出来ました。総会後は懇親会が催され和やいだ雰

囲気の中、細野久一校長、内木文英名誉校長を始めとする多数の諸先生ご出席を得て行なわれ、新任の先生や新同窓会会員の紹介、ビンゴゲームに笑い心情を持つて歓談され、新しいコミュニケーションの場を得て会員どうしの消息や交友を深められたと信じます。また今回の総会並びに懇親会に当つては、同総会担当の大谷光夫先生、渡辺礼子先生を始めとする会員各位、議長を務められた犬竹吉春氏、「二五」期の皆様のご尽力を頂いて、議事が進行されたことを報告致します。

さて望星高校同窓会も本年四五年の歴史を刻みました。同窓会の組織とその運営は長い歴史の流れの中で存在し続ける事、生き続ける事が必須の条件と言えます。この条件を充たすための「生き残りをかけた同窓会」が現在各地の同窓会に、意外と多い事に驚いています。現在望星高校同窓会は今までどおり継続中では有りますがしかし、現在は兎も角望星同窓会が未来永劫決して安泰とは言えません。

昨今、全国的な問題に高齢化問題と少子化問題、学校制度「統廃合」等の変遷により母校や同窓会が、傷つき不透明になつたり消滅するなどの話も数多く聞きます。中でも少子化問題と高齢化問題では各地で過疎化が始ままり、人口減少が急速に進行しています。言い換えれば日本各地で其れぞれの同窓会が会員の減少に危機感を持つて

いるのです。なぜなら同窓会は数千数万の会員によって構成され、その個々はまつたく違つた心情で有りながら思い出と善意で「同窓」に寄せる共通の一体感を絆として成立した組織体なのですから、会員の減少は同窓会の明日を決める問題で、望星同窓会もこの現実から目を背けてはいられません。

同窓会組織にはその組織づくりとそれを維持、継続する仕業がありますが中でも多様な機能運営に対応出来る優れた人材が必要ですし、ボランティア精神を持った意欲的スタッフ、幹部役員が必要になります。これらは同総会運営の数多い仕業の中で、最も基本的かつ最も大切な任務である会員の母校と同窓会に寄せる、共有の帰属感を増幅させその帰属に必要なアイデンティティとしての「同窓」を守り、母校との絆を中継する同窓会で有り続ける、継続的任務を果たさなければなりません。

現在望星同窓会はその会員数を二万六千二百三十七名の会員を有しながら、会員の帰属問題と組織運営に伴う後続的人材の育成問題など、これに至らない「ジレンマ」を抱え、正に「生き残りをかけた同窓会」がもはや対岸の火事ではなく、身近に実感するまでに近づいています。会員の皆様の「同窓」に寄せる帰属意識の高揚に期待するものです。

望 星 便 り

通信制高校で初の S S P 事業の採択になる!

今日は、担当している佐藤(情報A・C担当)・宮村(理科基礎担当)両先生にそれを書いていただきました。今年は、ピックニースがありました。数年会報で、教職員の異動等を主に伝えてきました。今年は、ピックニースがあります。

今日は、担当している佐藤(情報A・C担当)・宮村(理科基礎担当)両先生にそれを書いていただきました。

「S S P 事業」とは、大学・科学館等の連携により、生徒の科学技術、理科・数学に関する興味・感心と知的の探究心等を育成することを目的とした、独立行政法人科学技術復興機構において実施される事業です。本校では、今年度もこの事業募集に際し、二つの企画を提出したところ、いずれの企画も通信制高校で初めての採択を受けました。

○ e-Learning を利用した連携施策

— 教科情報を通じた自然科学分野の融合 —

普通教科「情報」の目標は、「情報及び情報技術を“活用”するための知識と技術の習得を通して…」とされ、情報技術の“原理”まで生徒に自ら学ぶ意欲を喚起し、探究心・思考力を養うためには、発展的・実際的な内容を演示実験を交えるなどして掘り下げていくという講義が不可欠です。この企画は、遠隔ながらこのような教育を実現することを目指したもので、本校「高校通信教育講座／情報報C」を、東海大学理学部の三名の先生方に

担当して頂きました。生徒はインターネットに接続された自宅のPCから、東海大学総合情報センターの L M S (Learning Management System)にアクセスして、ムービー形式で制作された講義を視聴し、また「体験プログラム」にアクセス、又はダウンロードして、体験しながら学習しました。

○ 健全な人工林のための森林整備活動

本校の総合講座「望星の森」では、相模原市相模湖町にある「若柳嵐山」の滑落した斜面の荒地を整備、植樹育樹する活動を行なってきました。この企画では、現地学習に L M S の活用を連携させることで、森林環境の“科学的理説”を深めることを目指しました。事前学習は、ムービー形式で制作された森林専門家による講義を自宅PCで視聴。疑問点を掲示板に書き込みます。全ての書き込みに専門家の方々から返答を寄せて頂きました。その上で現場学習に望みます。事後学習は、抱いた疑問が現地学習の体験でどう変化したかを書き込み、まとめとして、全員で集まってディスカッションしました。制作した講義は、森林の専門家、日本大学、東京農業大学の先生をゲストにお招きし、本校教員とのトーク形式という形で5本制作しました。「N P O 法人緑のダム北相模」のページで一般公開されています。(http://midoriniodam.jp) 「これら企画の実践は、このサイトにて順次報告していく予定です。」と望星高校ホームページはこう書いてありました。卒業生のみなさん、乞うご期待を！

平成19年度 決算報告

東海大学付属望星高等学校同窓会

平成20年3月31日

収 入		支 出	
前期繰越金	4, 968, 659円	連合関係費	1 43, 000円
新会員入会金	1, 214, 000	生徒会関係費	20, 000
新会員年会費	401, 000	通信費	5 54, 557
総会時年会費	12, 000	会報費	3 55, 000
総会時寄付金	10, 000	事務局費	50, 420
局振込年会費	268, 000	総会費	96, 677
局振込寄付金	269, 000	印刷費	2 46, 800
利子・利息	8, 617	交通費	50, 100
銀行振込年会費	2, 000	会議費	12, 607
立替金(バイダー)	247, 200	卒業記念品費	3 92, 437
		支部活動費	503, 000
		涉外費	26, 835
		機器整備費	4, 340
		(小計)	2, 455, 773
		繰 越 金	4, 944, 703
合 計	7, 400, 476円	合 計	7, 400, 476円
次期(平成20年度) 繰越金	4, 944, 703円		

平成20年度 予算案

東海大学付属望星高等学校同窓会

平成20年5月25日

収 入		支 出	
前期繰越金	4, 944, 703円	連合関係費	1 60, 000円
新会員入会金	1, 189, 000	生徒会関係費	90, 000
新会員年会費	386, 000	通信費	5 60, 000
局振込年会費	350, 000	会報費	3 70, 000
利子・利息	3, 000	事務局費	80, 000
		会員登録料	1 50, 000
		印刷費	2 50, 000
		会議費	1 00, 000
		卒業記念品費	20, 000
		支部活動費	4 00, 000
		涉外費	1 00, 000
		機器整備費	10, 000
		(小計)	2, 390, 000
		繰 越 金	4, 482, 703
合 計	6, 872, 703円	合 計	6, 872, 703円

上記の決算、厳正なる監査の結果、相違無い事を認めます。

平成20年5月18日

監査役 清水 庄司 (2期)  監査役 針替 幸子 (27期) 

平成18年度総会・懇親会収支決算報告

平成19年5月27日 望星高校に於いて

収 入	支 出
会費 138, 000円	飲食費他 234, 677円
(総会費より負担) 96, 677円	

平成20年度 役員選出

会 長	下倉 良次 (5期)
副 会 長	漆谷 憲康 (6期) 各支部同窓会支部長
書 記	田中 美帆 (28期) 綾部 見子 (38期)
会 計	長南 友行 (7期) 金谷 義孝 (14期)
事 務 局 長	須永 英典 (38期)
事 務 局 次 長	畠山 勝 (16期)
△ コンビッカー	時田 早絵 (39期) 鈴木 広和 (42期)
△ 広報担当	清水 庄司 (2期) 針替 幸子 (27期)
監 査 役	清水 庄司 (2期) 針替 幸子 (27期)